

有効期間満了： 2011年2月28日

案件名	株式会社日吉のダイオキシン分析業務カーボン・オフセット企画 <生物検定法；ケイラックス®アッセイ（CALUX®Assay）>
申請者	株式会社日吉
案件の概要	ケイラックス®アッセイ（CALUX®Assay）は、従来の高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計法に比べて温室効果ガス負荷を低減した商品である。 本企画の分析プロセスをバウンダリとし、使用する装置・機器・有機溶媒での電力量から温室効果ガスの算定を実施し、インドの風力発電プロジェクトから創出された京都クレジット（CER）を用いてカーボン・オフセットする。
認証区分・タイミング	I-1（商品使用・サービス利用オフセット） 事後認証時
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	株式会社日吉
算定範囲	ケイラックス®アッセイ(CALUX®Assay)の分析プロセスにおいて使用される、主要設備（安全キャビネット、ルミノメーター、CO ₂ インキュベーター等）の分析プロセス内で使用する電力量を CO ₂ 排出量として換算した分を対象とする。
オフセット量 / 算定排出量	8t/8.1t
クレジット種別	京都クレジット（種類：CER）
プロジェクト名	インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト
無効化日時	平成 22 年 1 月 25 日
情報公開	株式会社日吉のダイオキシン分析業務カーボン・オフセット企画 <生物検定法；ケイラックス®アッセイ> 地球温暖化が進むことで、異常気象の増加、生物多様性への影響等さまざまな問題が発生します。我々は、この地球温暖化を止める対策をしなければなりません。このような中、株式会社日吉は、ダイオキシン類分析において、従来法（高分解能ガスクロマト質量分析計）と比べて、簡易迅速安価な技術として、ケイラックス®アッセイ(CALUX®ASSAY)というの手法を推進してまいりました。さらにこの技術は、従来法に比べ、地球温暖化への影響が少ない独自手法であることからこの度、更なる地球温暖化防止を目的として、ケイラックス®アッセイ(CALUX®ASSAY)の分析プロセスで使用する主要機器から発生する CO ₂ をカーボン・オフセットいたします。 そして地球環境になるべく負荷をかけない商品という認知をすること

によって、その商品を通じて少しでも多くの消費者の方にこの問題に関して興味を持っていただければと思いますスタートさせました。

【カーボン・オフセットとは？】

カーボン・オフセットとは、地球温暖化の原因となるCO₂を、世界各地のクリーンエネルギー事業などCO₂削減プロジェクトを通じてオフセット（相殺）するしくみです。地球温暖化の問題がより深刻なものとなっている近年、カーボン・オフセットの考え方は世界的に広がっており、我が国でも本格的な取り組みがはじまっています。

【算定量・算定方法について】

オフセットの対象とする活動；ケイラックス®アッセイ

（CALUX®Assay）の分析プロセスにおいて使用される、主要設備（安全キャビネット、ルミノメーター、CO₂インキュベーター等）の使用に伴うCO₂排出量を対象とする。

従来法に比べて、①主要測定装置が、大きく異なり、電気量が低減されている（従来法；HRGC/HRMS ⇒ ケイラックス®アッセイ；安全キャビネット、ルミノメーター、CO₂インキュベーター）②使用する分析試料が従来法より少なくて済むため、前処理での容器容量が少なくて済みので、相対的に電気量が低減されている。電気量の低減＝CO₂発生量の低減となり、それをオフセットすることをします。

算定の根拠としたガイドライン名または算定式等；

・算定式 CO₂排出量[kg-CO₂/年] = 1 検体あたりのCO₂排出量[kg-CO₂/検体] ※1 × 検体数[検体/年] ※2

※1；1 検体あたりのCO₂排出量 = Σ 各分析工程における1 検体あたりの消費電力[KWh/検体] ※3 × GHG 排出係数 [t-CO₂/kWh]

※2；検体数 = 昨年度実績値

※3；各分析工程における1 検体あたりの消費電力[KWh/検体] = 各工程での機器別消費電力[KW] × 使用時間[h] ÷ 装置1 台の最大検体数[検体]

・活動量・排出係数とその根拠等 CO₂排出係数：出典 地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条；2008年度数値（最新値）

対象とする活動に伴う排出量とオフセット量

オフセット総量 8.0t = 2.7kg-CO₂/検体 × 3,000 検体（1 検体あたりのCO₂排出量 2.7kg-CO₂を全量オフセット）なお、昨年検体実績は、2,203 検体となり、オフセット量は余裕をもって設定しているが、申請オフセット量を超えた場合、クレジットを追加調達の上、再申請を行う。

【カーボン・オフセットに用いるクレジットについて】

オフセットに用いる排出権・クレジットの種類；インドカルナタカ州の風力発電プロジェクトにより創出された京都クレジット（CER）を使用します。

クレジットの調達方法と無効化方法；クレジットは、オフセットプロバイダーである三菱 UFJ リースを通じて、調達し、既に 8.0t- CO₂分を既に無効化し、償却してあります。

プロジェクト情報；

正式名称：インド・カルナタカ州 NSL27.65MW 風力発電プロジェクト

プロジェクトの概要：インド南西部におけるカルナタカ州において、再生可能エネルギーとして風力を利用することにより、温室効果ガスを排出せずに地域のエネルギー需要に貢献する。また、発電した電力はカルナタカ電源供給会社（Karnataka Power Transmission Corporation Limited）へ供給することにより電力不足となりがちな同州のエネルギー問題の一助となる。

プロジェクトのタイプ：風力発電

プロジェクトの期間：2003.10.3～2010.10.2(7年間)

プロジェクトの排出削減・吸収量：280,179t-CO₂(7年間)

オフセットの主体；

株式会社日吉

【販売価格・価格負担・その他支払いについて】

商品・サービス当たりの販売価格；分析受注単価 25,000～70,000 円

消費者のオフセットに関する価格負担の有無；オフセットに用いる排出権の調達料金は、当社の負担で実施しております。

その他支払に関する事項； キャンセルは、分析開始完了（速報時）までにお申し出ください。

【その他情報について】

【分析受託（販売）事業者】 株式会社日吉技術部分析研究課

〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町 908 番地

運営統括管理者；技術部品質保証室 山本司

URL①：<http://www.calux.jp/> URL②：<http://www.hiyoshi-es.co.jp/>

TEL：0738-32-5001 / FAX：0748-32-4192 Email：calux@hiyoshi-es.co.jp